

龍谷の教育

No.169

2024.Winter



〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>



クラスの絆の見せどころ



笑顔はじける！ クラスマッチ



AIの導入により高校教育はどう変化するのか

主幹教諭

中島 一明



2023年は生成AI「チャットGPT」

「GPT」が大きな反響を呼び、ユーザー数は瞬く間に1億人を超えました。マイクロソフトはオープンAIに投資をし、マイクロソフト・オフィスと検索エンジンBingにこの技術を組み込んでいます。「チャットGPT」は、自然言語処理の分野で開発されたAIの一種です。AI教育は現在、さまざまな学校で導入が進んできています。

AIの導入により、高校教育は大きな変革を経験しています。まず、カスタマイズされた学習経験が可能になり、生徒に自分のペースで学習し、個々のニーズに合わせた教材やアクティビティが提供されています。AIは生徒の進捗を追跡し、弱点を特定して補強することができ、効果的な学習プランを提案することができます。6月にCESにおいて、新しい学び支援機能としてAI搭載の「学習トレーニング」の提供が開始されました。生徒が抱える「何から学習すればよいかわからない」という悩みを寄り添い、苦手分野を学習する一歩を後押ししてくれています。これにより、教育AIと学習記録データを活用しながら、主体的かつ個別最適な学習を実現していきます。

教師の役割も変化していきます。AIは教材の作成や評価の手助けを行い、われわれ教師はより多くの時間を生徒

指導に費やすことができるようになっていきます。AIは効果的な学習環境を提供し、生徒の学習プロセスもサポートします。

また、遠隔教育が普及し、AIを活用したオンラインコースは、生徒が自分のペースで学習できるようになります。教材は常に利用可能で、生徒は自分のスケジュールに合わせてアクセスできます。これにより、地理的な制約がほとんどなくなり、自宅にいても生徒が質の高い教育にアクセスできます。

高校教育において、AIは生徒の評価にも影響を与えます。AIを用いて、生徒が実際のプロジェクトに取り組み、実際のスキルや問題解決能力を評価することが可能になります。従来の試験では難しいとされるコミュニケーション能力、協力能力なども評価できる可能性があります。これにより、生徒の総合的な能力がより正確に把握されるでしょう。

一方で、個人情報や安全性の懸念も浮上します。生徒のデータ保護とAIの倫理的使用についての議論が重要です。高校教育の変化に対応するために、教育機関や政府は新しい規制とガイドラインを策定し、生徒の権利とプライバシーを保護する取り組みが必要です。AIの導入により、高校教育は効果的かつ効率的な学習体験を提供し、生徒の個別ニーズに合った教育を実現します。しかし、技術の進化に伴う課題にも注意が必要であり、教育の質と安全性を守りつつ、新たな教育の時代を築く必要があります。

朝、目が覚めた時間がいつもより遅い時間だったとき、寝坊したと焦ってしまい朝からばたばたと準備をし、出て行く・・・

そしてそんなときに限って、信号にはすべてというほど引かかる。いつにもまして道も混んでいる、何とか間に合ったと思えば忘れ物をしている：等となってしまうことがあります。

逆に、いつもより自然と早く目が覚め、いろいろな準備ができ、無駄なく余裕を持てるような朝は、気分も良いし、何事もスムーズに進む一日であるように感じられ、余裕があるから何事も冷静に対応できたりすることもあります。

勉強や仕事にしても同じで焦って不安になればなるほど、よく分からなくなったり、ミスを犯してしまふ。余裕があれば焦ることなく、よく解釈して広い視野で取り組むことができる。そのような事が私の場合は多いように感じます。

同朋

てみますと、友達や家族、先生や周りの人と置き換えることもできます。自身に余裕があるときは周りを広く見渡すことが出来る。逆につらく苦しうて周りが見えなくなる時もあるだろうけど、いろんな人がいるから、一人で悩まなくていいんだよ。と、このように恩師は伝えてくれたのでした。なるほどなあ、いい言葉だなと思いました。

しかしふと、周りにそのような存在がなく、一人苦しい思いをしているとしたら、どうしたらいいだろうかとも思いました。そこで「山」の部分で「阿弥陀如来」という言葉に置き換えてみました。

阿弥陀如来とは浄土真宗でもっとも大切にする仏様であり「全てのものを分け隔てなく必ず救う」という誓いをたてられたお方です。そして、いつもそばにいてくださり、限りの無い光で私を照らし見守っていてくださる仏様です。

人が行うことには限界がありますが、仏さまのはたらきは無限です。そのような働きかけをしてくださる仏さまがどんな時でもいてくださると思うと、恩師の言葉がより有難く感じられるのでした。

法人 松谷 教生

以前、恩師より「忙裏山我をみる 閑中我山を看る」という漢詩を覚えていただきました。どういう意味かというと、「自分に余裕があるときは山を見ることができる。余裕が無いときは見ることもできないけれど、山はいつでも私を看ている」ということです。

山という言葉を他の言葉に置き換え

「社会に貢献する」とは？

高校2年生キャリア教育プログラム「locus」

高校2年生は12月14日にキャリア教育の一環として、「locus」を実施しました。「locus」とは、企業や人々のつながりの中で、企業がおこなってきた課題解決に触れ、自らの視野を広げるための探究学習プログラムです。生徒たちは事前学習を通して訪問先の企業について調べ、プレゼンテーションを作成し、発表を行いました。また、企業訪問の際には、社会と企業の結びつきや取り組んでいる課題などについて学びました。

〈生徒の感想〉ポートフォリオより

- ・この学習を通してどのような社会課題があり、どのような解決策があるのかを考え、自分ができていることを深く考えることができた。今暮らしている地域の社会問題についても触れることができ、普段考えることがなかったいろんなことを考えられる力を身につけられて良かった。
- ・会社の人達はどのようなことをしたらこの会社が良くなるかを、社員の話を聞いて取り入れてみたり、高校生との話し合っていて聞いてみたりして、さまざまな人達の意見を取り入れていき、この会社が良くなるように取り組んでいるという事が分かった。自分もチームが良くなるにはどうしたらいいかななどをさまざまな意見を聞いてよりよくしていくと思った。
- ・今回のローカスでは実際に企業訪問し、いろんな発見や新しいことを学びました。企業訪問先では自分の考えや感想を伝え、質問をたくさんしてきました。調べた中では分からない苦勞ややりがいなどを教えてもらいたくさんのことを学びました。今回のローカスを自分の一つの選択肢として入れこれからの将来に繋げていきたいなと思いました。

ご協力いただいた企業の皆様、ありがとうございました。

(文責 横曾根)

学園報恩講

12月15日(金)に「学園報恩講」が勤修されました。「学園報恩講」は宗祖親鸞聖人のご命日をご縁として、浄土真宗のみ教を伝えてくださったご恩に報いる、本学園において最も重要な宗教行事です。今年度は中学生、高校1・2年生が本学園発祥の地である願正寺に参集し、高校3年生はライブ配信を行い、教室での勤修となりました。

ご法話は北山組最勝寺の田中信勝師をお招きしてご聴聞させていただきました。生徒たちは、ご法話の中でも特に、「この一枚の紙のなかに雲が浮かんでいる」というお話から紙がどこまであるまでには、多くの自然のはたらきや人の存在があることに気づかされ、また私たち人間も無数の人、物によって生かされていることを深く受け止めることができました。

(文責 横曾根)



3年間の思い、音にのせて

第10回保育コースピアノ発表会

令和5年12月2日、佐賀県立美術館ホールにて第10回保育コースピアノ発表会が行われました。3年間の学びの集大成として、練習の成果を存分に発揮し、見事な演奏を披露しました。これまで指導して下さった先生方、支え励まして下さった保護者の皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。

- ・3年間の成長、自分の思いをピアノで伝えることができました。また、みんなで協力して3年6組らしい合唱を作ることができ、とても楽しかったです。(3年 藤田想來 北山中)
- ・私たちがそれぞれ思いを込めて練習してきた曲を、保護者の方々の前で演奏することができて良かったです。(3年 山本詩笑 鹿島西部中)

(文責 古賀り)



保育コース あそびフェスタ

11月21日(火)に、龍谷高校体育館にて龍谷こども園の園児たちを招待してあそびフェスタを行いました。今年のテーマは「秋の森」。1年生は、様々な秋の植物や動物のモチーフを制作し会場を飾り付け、2、3年生は、手作りおもちゃを作りました。笑顔で楽しそうにおもちゃで遊ぶ園児達の姿が見られました。

初めて実行委員長という立場に立たせてもらい、不安でいっぱいでしたが、仲間にも助けられ無事に成功することができました。この貴重な経験を短大でも活かしていきたいと思います。

(3年 江頭希歩 川副中)

遊びフェスタでは園児さんたちが安全に楽しく遊べるものを各班でたくさん考え制作しました。思うように進まないこともあったけど、園児さんがとても楽しんでくれていたので嬉しかったです。これまで学んだことを短大で活かせるように頑張ります！

(3年 山崎優依 小城中)

(文責 古賀り)



いざ、志望校合格へ ～共通テスト激励会～

国立大学への進学を目指す3年生に向けて、共通テスト激励会が行われました。

はじめに学年主任より「この日のために、時には涙を流しながら受験勉強に励んできた人もいるはず。悔いの残らないように精一杯取り組んできてほしい」と激励の言葉をいただきました。

次に、進路指導部長から試験場の諸注意について説明を受けました。受験生達は緊張した面持ちで真剣に話を聞いていました。

最後に、学校長より「これまで時には大変な思いをして受験勉強に励んできたと思うが、それは自分で選んだ道。応援やサポートをしてくださった方々の思いも胸に、夢を実現させてほしい。そして社会のために貢献できる人材を目指してほしい」と激励の言葉をいただきました。また、「平常心を保つことの大切さ」についてもアドバイスいただきました。

生徒を代表して、3年A組国輝弥さん（龍谷）が「今日はこのような激励会を開いていただきありがとうございます。受験勉強を通して、目標に向かって努力することの厳しさややりがいを学びました。明後日は、大学進学的第一関門となる共通テストを迎えます。大変緊張していますが、自分の夢の実現のため、支えてくれた家族のためにもこれまでの努力の成果を発揮できるように、集中して挑んでまいります。」と共通テストへの意気込みを述べました。

この春、受験生たちの努力が実を結び、たくさんの桜が咲きますように。

(文責 平井な)



「持続可能な社会(SDGs)を創りあげていくための提言」発表会

高校特別進学コースはグローバルリーダーとしての資質、能力を育成するための取り組み、G-pro (Global Leadership Project) を行っている。12月13日、2年生がその集大成として「持続可能な社会(SDGs)を創りあげていくための提言」をテーマにプレゼンテーション発表会を開催した。現代で起こっている様々な問題をSDGsの観点から取り上げ、「自然災害や高齢化社会が進む中で、安心して暮らしていける社会を作っていくための提言」や「在日外国人が日本を第二の故郷に感じてもらえるような社会にするためにどのようなことが必要か」など、5つのグループがこれまでの学びを生かした発表を行うことができた。

発表を終えた2年生のコメント

「『外国人』は国籍やアイデンティティが日本にはないことを指す言葉。私たちとはかけ離れた境遇にいる人に寄り添って考えることは非常に時間がかかりますが、故郷があることへの安心感も多くの人が共通して持っているものだと思います。」

参加した1年生のコメント

「特に貧困や高齢化社会についてのプレゼンが印象に残った。これまでもネットニュースなどでこれらの話題について触れることはあったが、プレゼンを聞き、改めて深く考えることができた。自分も来年はテーマについて深く調べて分かりやすいプレゼンを作りたい。」



2年生のG-proの取り組みはこの発表会をもって終了するが、2年生はこれまでの2年間の学びで得た知識や思考力、発信力をこれからの学びに生かし、社会に貢献できる人材となることを目指してほしい。

(文責 平尾)

県高校ビブリオバトル優勝！ 全国へ

おすすめの本を紹介し合う書評合戦「県高校ビブリオバトル」において、文理進学コース3年山下美幸さん（諸富）が優勝、県の代表として決勝大会（全国大会）に出場することになりました。ビブリオバトルとは、制限時間5分で本の内容や魅力を紹介し、どの本を一番読みたくなったかを競う大会です。

以下、山下さんのコメントです。

私は今回、初めてビブリオバトルに出場しました。ある日、図書室でビブリオバトルの県大会のチラシを目にしました。気になったものの、受験もあり、なかなか自分の中で出場を決めることができませんでした。ですが、図書室の先生に相談をし、出場することを決心しました。作品は浅倉秋成『六人の嘘つきな大学生』に決めました。この本を選んだ理由は、今まで読んだ中で、読みやすく、面白かったからです。また、紹介しやすいとも思いました。この本は、就職活動がテーマなので、どうしたら日常生活からこのテーマに繋がれるのかが一番難しかったです。予選はトップバッターだったのでとても緊張しました。自分でも驚きましたが予選を1位で通過することができました。決勝では4人が出場し、最後に発表をしました。観客が多いのもあり、予選とはまた違った緊張感がありました。結果発表の際、私の名前が呼ばれた時には信じられなかったです。全国大会は観客が500人いるとのことなので緊張すると思いますが、今までたくさん緊張する場面を味わってきた私ならできると思っています。この本の魅力が全国の人に伝わり、読みたいと思ってもらえたらうれしいです。もちろん出場するからには優勝を目指しています。応援よろしくをお願いします。またぜひ機会があれば「六人の嘘つきな大学生」を読んでみてください。

(文責 平井な)



龍谷から発信！ 高校生活CM&プレゼンコンテスト出場

12月3日にゆめタウン佐賀にて行われた『バズらせよう！あなたのアイデア！～30秒で魅せる高校生活CM&プレゼンコンテスト～』に本校の重富麗良（①武雄中）さんが出場し、3位になりました。以下、本人のコメントです。

みなさん、龍谷高等学校の敷地内には、「多布施川」という一級河川が流れているのをご存知ですか。私はこれに着目し現在、世界的なテーマである「SDGs」と絡めたテーマで今大会に挑みました。定期テストが重なり短い期間での作成は、想像の5倍大変で想像の10倍楽しかったです。作品が完成した時は、今までに感じたことのない安堵と達成感を感じました。結果は3位でしたが、非常に貴重な経験をさせていただいたと思っています。今回の活動を通して、環境に対する考えや見方が変わり、SDGsへの興味がより強まりました。また、何か一つの事に全力で取り組む大変さと楽しさを実感したことで、もっと多くの大会に挑戦したいという意欲が湧いてきました。これからも自分ができることを見つけて持続可能な社会を実現していきたいです。

(文責 小杭)



お互いに学ぶ「コミュカ」 佐賀県立盲学校×龍谷高校サッカー部スポーツ交流会



今年で5回目となった佐賀県立盲学校の生徒さんとのスポーツ交流会。今年も気持ちのいい青空が広がり、風が冷たい中にも、温かさを感じる中での開催となりました。5回全てに参加をしてくれている生徒さんもいて、3年生の選手から「大きくなった!!!」「元気だった?」というような声も聞かれました。今年はラッキーストライカーズ福岡の岸原さんをコーチにお招きしました。



最初はみんなで大きく円になってからのスタート。お互いに声を出してコミュニケーションをとり、協力をしながら進んでいきました。サッカーボールを使う頃には、みんな仲良くなって、なかには、本気で選手に挑む盲学校の生徒さんがいたり、ゲームに勝ったらみんなで飛び上がって喜んだり、あちこちで笑顔の花が咲きました。

いろんなコミュニケーションのやり方がある、時には戸惑ったりすることもありながら、理解を深めていくこと、選手たちは多くのことを学び取っていました。岸原さん、盲学校の皆さん、ありがとうございました。



選手の感想

「盲学校の生徒とサッカーをして感じたことは、目が見えないことがどれだけ怖くて不便かということです。音を頼りにするしかないのでもっとコミュニケーションを取ることができたと思います。盲学校の生徒は感情表現がとても上手なので、嬉しい時は本気で喜んで、悲しい時は本気で悲しむなど感情をもっと表現できるようにまねしたいと思いました」

「盲学校の生徒達と触れ合ってみて実感したのは感情表現が豊かだということです。嬉しいときは体いっぱい使って喜んでいました。何事にも全力で取り組んでいる姿もとてもすごいと感じました。途中の休憩の際、水筒からコップに水をつぐときに水の音でどれだけ注いだかを計って飲んでいました。それがとてもすごいことだと感じました。目が見えないことを言い訳にせず、自分が出来ることを精一杯するということが今回のブラインドサッカーを通じて学びました。見習いたいと思いました。」

(文責 不二見)



←佐賀新聞の動画はこちら



←サガテレビの記事はこちら

秋のオープンスクール～Think Your Colors～ 龍谷模試お礼

10月末、最後のオープンスクール～Think Your Colors～ を実施しました。模擬試験には100名を超える中学生の皆さんに参加をいただきました。模試の結果を見て、受験に向けての気持ちが高まってきていたら嬉しいです。午後からはミニオープンスクールを実施、iPadを使いながら「協働」をテーマに活動してもらいました。

これからの時代は「知識」を身につけたうえで、自ら問題を発見し、多様な人々と一緒に解決していく力が求められます。ICTは答えを教えてくれるわけではなく、その答えを導くプロセスのなかでどう使っていくか、それを学ばなければなりません。

ぜひ、龍谷で、その力を身につけてもらえたらと思います。参加していただいた皆さん、ありがとうございました。

(文責 不二見)



龍谷 SPORTS & CULTURE

【テニス】

第51回令和5年度佐賀県高等学校テニス新人大会兼第46回全国選抜高等学校テニス大会佐賀県大会(10月14日～15日、21日～22日・SAGAサンライズパーク庭球場、松浦河畔公園庭球場)

男子シングルス

3位 横 侑聖 (②東与賀)
ベスト8 松本涼太郎 (②城北)

男子ダブルス

準優勝 横 侑聖 (②東与賀)
松本涼太郎 (②城北)

2023秋季ジュニアテニス選手権大会(12月2日・SAGAサンライズパーク庭球場)

U17男子シングルス

ベスト4 横 侑聖 (②東与賀)

【剣道部】

令和5年度佐賀県高等学校新人剣道大会兼第38回九州高等学校選抜剣道大会予選会(10月21日～22日・吉野ヶ里文化体育館)

男子団体 3位 九州大会出場

弓 翔太 (②北茂安)
川内 夢翔 (②神 埼)
野中 遥稀 (②神 埼)
古川 雄大 (②大 和)
森口 竣瑛 (②西宮 塩瀬)
内田 尚希 (②龍 谷)
平田 謙心 (①龍 谷)
奥山 晃英 (①龍 谷)
江頭 大聖 (①北茂安)

女子団体 2位 九州大会出場

檜橋 優那 (②大 和)
小川 なな (②龍 谷)
友永 心絆 (②相 知)
橋本 真央 (②小 城)
川内丸美緒 (①龍 谷)
安達 心希 (①三 瀬)
宮崎 優亜 (①龍 谷)

男子個人 九州大会出場

2位 野中 遥稀 (②神 埼)
3位 弓 翔太 (②北茂安)
3位 川内 夢翔 (②神 埼)
ベスト8 古川 雄大 (②大 和)

女子個人 九州大会出場

ベスト8 檜橋 優那 (②大 和)
ベスト8 友永 心絆 (②相 知)
ベスト8 橋本 真央 (②小 城)

福岡大学長旗高校剣道大会(11月3日・福岡大学第二記念会堂)

男子団体 優勝

弓 翔太 (②北茂安)
川内 夢翔 (②神 埼)
野中 遥稀 (②神 埼)
古川 雄大 (②大 和)
森口 竣瑛 (②西宮 塩瀬)
平田 謙心 (①龍 谷)
江頭 大聖 (①北茂安)

女子団体 2位

檜橋 優那 (②大 和)
小川 なな (②龍 谷)
友永 心絆 (②相 知)
橋本 真央 (②小 城)
川内丸美緒 (①龍 谷)
安達 心希 (①三 瀬)
宮崎 優亜 (①龍 谷)

令和5年度第20回佐賀県高等学校剣道大会兼第38回全国高等学校剣道選抜大会県予選会(12月17日・吉野ヶ里文化体育館)

男子団体 優勝 全国大会出場

弓 翔太 (②北茂安)
川内 夢翔 (②神 埼)
野中 遥稀 (②神 埼)
古川 雄大 (②大 和)
森口 竣瑛 (②西宮 塩瀬)
平田 謙心 (①龍 谷)
江頭 大聖 (①北茂安)

女子団体 優勝 全国大会出場

檜橋 優那 (②大 和)
小川 なな (②龍 谷)
友永 心絆 (②相 知)
橋本 真央 (②小 城)
川内丸美緒 (①龍 谷)
安達 心希 (①三 瀬)
宮崎 優亜 (①龍 谷)

令和5年度第27回将龍杯高校剣道大会(12月25日～27日・レゾナック武道スポーツセンター)

男子団体 優勝

弓 翔太 (②北茂安)
川内 夢翔 (②神 埼)
野中 遥稀 (②神 埼)
古川 雄大 (②大 和)
森口 竣瑛 (②西宮 塩瀬)
内田 尚希 (②龍 谷)
豊川 真 (②龍 谷)
平田 謙心 (①龍 谷)
江頭 大聖 (①北茂安)

女子団体 2位

檜橋 優那 (②大 和)
小川 なな (②龍 谷)
友永 心絆 (②相 知)
橋本 真央 (②小 城)
川内丸美緒 (①龍 谷)
安達 心希 (①三 瀬)
宮崎 優亜 (①龍 谷)
大曲 遥寧 (①龍 谷)

【弓道部】

令和5年度佐賀県高等学校弓道2年生大会(12月10日・多久市緑が丘弓道場)

個人 3位 水町 美心 (②諸 富)

【陸上】

全九州高校新人陸上競技大会(10月6日～8日・熊本県総合運動公園陸上競技場)

女子100mH 15.64

8位 海老原もえ (①香 楠)

八種競技 4459点

14位 辻 直輝 (②城 西)

男子走高跳 1m85

8位 福山 直 (②鳥 栖)

男子三段跳 13m79

5位 永渕 凱都 (②鹿島西部)

佐賀県高等学校駅伝競走大会(10月29日・佐賀市立スポーツパーク川副～九州佐賀国際空港周辺コース)

合同チーム (9位)

第3区(3.0km) 秋山裕琳菜 (①大 和) 14:25

第5区(5.0km) 今泉 彩那 (①金 泉) 23:20

合同チーム (10位)

第5区(5.0km) 古賀 悠聖 (②神 崎) 17:21

【サッカー】

第101回全国高校サッカー選手権佐賀県大会(10月5日～11月19日・龍谷高校人工芝サッカーグラウンド・みゆき公園)

3位 龍 谷 8-0 小 城

龍 谷 4-2 佐賀農業

龍 谷 1-2 佐賀商業

高宮杯U-18サッカーリーグ2023佐賀 サガんリーグ1部(年間・龍谷高校人工芝グラウンド他)

優勝

【女子バスケットボール】

SSPフレッシュシリーズ2023第75回佐賀県高等学校バスケットボール新人大会兼第54回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会佐賀県大会(12月3日、9日・伊万里実業高校、有田工業高校)

1回戦 龍 谷 52-50 鳥栖商業

2回戦 龍 谷 27-56 致遠館

【女子バレーボール】

令和5年度佐賀県高等学校新人バレーボール大会(1月20日・芦刈文化体育館)

1回戦 龍 谷 0-2 武雄高校

【ソフトテニス】

佐賀県高校新人ソフトテニス選手権大会(個人戦)(10月21日・森林公園庭球場)

個人戦 九州大会出場

ベスト8 手嶋 陽輝 (②田 代)
ベスト8 宮原 優来 (②東背振)

佐賀県高校新人ソフトテニス選手権大会(団体戦)(10月22日・森林公園庭球場)

1回戦 龍 谷 1-2 伊万里実業高校

【自転車競技部】

令和5年度全九州高等学校自転車競技新人大会(11月17日～19日・久留米競輪場/HSR九州)

女子ケイリン

2位 原 愛華 (②川 登)

女子スプリント

5位 原 愛華 (②川 登)

女子500mタイムトライアル

7位 原 愛華 (②川 登)

女子2kmインデヴィジュアルパーシュート

8位 原 愛華 (②川 登)

学校対抗総合 女子5位

【水 泳】

令和5年度(第85回末弘杯)全九州高等学校選手権新人水泳競技大会(9月30日～10月1日・福岡市立総合西市民プール)

男子400m個人メドレー 4分27秒42

1位 市丸 愛翔 (②成 章)

男子200m個人メドレー 2分5秒93

1位 市丸 愛翔 (②成 章)

【書道部】

佐賀県総合文化祭(10月29日)

秀作 西 竜平 (③北 方)

秀作 松本 華 (③附 属)

秀作 梶原 佑月 (②龍 谷)

秀作 梶原 葵衣 (①小 城)

秀作 中島 百音 (①東与賀)

秀作 中津海珊瑚 (①腹 栄)

入選 小柳 僚雅 (①武雄北)

入選 永田明日香 (①成 章)

佐賀県高等学校臨書展(1月6日)

秀作 西 竜平 (③北 方)

秀作 梶原 葵衣 (①小 城)

秀作 中島 百音 (①東与賀)

秀作 中津海珊瑚 (①腹 栄)

秀作 小柳 僚雅 (①武雄北)

入選 松本 華 (③附 属)

入選 永田明日香 (①成 章)

【美術部】

第35回佐賀県高等学校総合文化祭(10月30日・佐賀県立博物館・美術館)

デザイン

入選 宮崎 凛 (②龍 谷)

入選 坂本 悠夏 (②城 西)

入選 金色ひより (RG④龍谷理数グローバル)

入選 黒尾丸明咲 (RG④龍谷理数グローバル)

佳作 副島 空姫 (RG④龍谷理数グローバル)

立体 入選 土橋 葵 (②中 原)

絵画 入選 西村 知世 (RG④龍谷理数グローバル)

【吹奏楽部】

第49回佐賀県吹奏楽アンサンブルコンテスト(12月24日・佐賀市文化会館大ホール)

金賞

第22回マーチングステージ全国大会九州予選(1月8日・佐賀市文化会館大ホール)

金賞 (九州代表)



龍谷SDGsなう



『龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章』4つの柱に基づき、SDGs推進教育を行っています。

学校法人佐賀龍谷学園龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章

- ①持続可能な社会を創造できる人を育成する教育を提供します
- ②持続可能な社会を創造できる人を育成する教育の場を創造します
- ③持続可能な社会を創造する地域の実現に貢献できる地域の基盤となります
- ④理想的な生徒の育成を実現するために教職員のディーセントワークを実践します



ユニセフ「子どもサミット」in 佐賀市 ～持続可能な子どもにやさしいまちづくり～ に参加しました!!! 会場：佐賀新聞社 (11月12日)

ユニセフ「子どもサミット」in 佐賀市は、佐賀市内中学校13校26名、高校15校27名が参加して行われました。53人を事前アンケートで9班に分け、「子ども権利条約」を見つめ佐賀の課題点を考え、各班で解決策を導き出しました。グループごとの提言を発表後、全体で佐賀市長への中高生の提言採択をしました。本校参加生徒も、他校の生徒と意見を交わし、龍谷のSDGs活動についても発表しました。

【生徒感想】 ●私たちの班は、「生活に必要な衣食住の基本的サービスを受けられる」をテーマに話し合いました。佐賀は、ボランティア活動が多く行われていることによって地域や町の環境が良くなっています。これからもっとよくなるには電車やバスの本数を増やすのはどうかという意見を述べました。〔青木 珠花 (②諸富)〕 ●今回のサミットでは普段考えることのないテーマでしたが、佐賀市はSDGsのどの項目に着目し、それを改善していくのか、それらを通してSDGsの目標の大切さについて学ぶことが出来ました。〔川原 睦稀 (②城北)〕 ●今回参加して、佐賀市でも山間地域のバスの本数が少ないことや、交通の便が悪いことを知りました。どうすれば解決することができるのかを班で模索しました。〔長 祐太郎 (中①勸興)〕 ●サミットで決定した提言と提言理由や魅力を語り、「ぜひ、実現してほしい。」という強い気持ちを坂井秀隆市長に伝えました。とても緊張しましたが、最後まで打ち合わせをして、サミット参加者全員の想いも背負って伝えたいと思いました。今回、代表としての責任の重さや社会性の重要さを学びました。〔服部 季蓬里 (中①北川副)〕



水辺フェスティバル2023 場所：松原神社 (10月15日)

クリーク学習・カヤック、サップ体験、環有明海高校生サミットなどのご指導いただいている「さがクリークネット」・「松原川/川床プロジェクト」が主催するイベントにボランティア参加しました。中学サイエンス部やクリークについて関心のある生徒が「水辺の自然物を生かして万華鏡を作ろう」を開催。カヤック・サップ体験もさせていただきました。佐賀のクリークを守る心が生徒たちの中に芽生えました。



まなびいフェスタ2023 in アバンセ (10月29日)



今年度はLGBTQ+支援のALLY普及の想いを込めて、「手形アート×多文化共生」ワークショップを行いました。ALLYについての意義を説明し、イメージカラーのそれぞれの意味を理解していただき、手形に想像を膨らませ、アート作品を仕上げるお手伝いをしました。また、ステージ発表では、中学2・3年生、高校1年生、中高一貫理数グローバル4年生計6名がこれまでのSDGsに寄ってきたもの、今後やっていきたいものなどをプレゼンしました。

2023森川海人っフェス! in 佐賀アリーナ (11月19日)

年々、規模が大きくなっている県主催の「森川海人っフェス!」。今年度は佐賀アリーナで開催されました。SDGs活動をしている多くの団体が各ブースで日頃の活動報告や紹介をする中、本校は、佐賀の生態系をもっと知ってもらうための企画として、「手形アートをヘーンシン」と題して、自分の手形から連想した動物・植物を描くワークショップを開催しました。



(文責 徳森)

Look to the future

龍谷中学校
中高一貫 理数グローバル

「Future Design ～そして私の提案～」龍中学会



令和5年10月28日(土)、中学3年生が3年間の集大成を発表する「第3回龍中学会」を開催しました。

取り組むに当たって、4月当初はまだ夢を見つけれず悩んでいる生徒もいました。そこでまず「自分がやりたいもの」ではなく、「自分のやりたいこと」を見つめました。また、10年後の理想とする人物像を考え、自分の将来を再考しました。

そして、理想を語るだけではなく、中学3年生の今の「わたしにできる提案」を考えました。一つ一つ、背伸びする課題に取り組む中で確実に生徒たちは成長しています。理数グローバルコースアドバイザーである佐賀大学の中村隆敏教授からも、「実践的かつ具体的な発表だった」とコメントをいただきました。また、「佐賀大学でも行っている地方創生プログラムにも則っており、今後、高大連携していきたい」とのお声かけもいただきました。(文責 徳森)

【生徒感想】

豊増 恒生

龍中学会では、中学校で鍛えたプレゼン力を出し切ることができました。聴いている人が楽しく聴けるようなプレゼンを心がけました。竹の研究をしていて、「竹で学校を建てたい」という気持ちを伝える努力をし、それを実現させるために必要なことをしっかり説明できました。

松石 望愛

私は自分の特徴を活かせるような職業を考えました。私の強みはリーダーシップを発揮することです。また、人と関わることも大好きなので、それらを活かして誰かを助ける仕事ができたいと思いました。しっかりと発表できたのでよかったです。

宮崎 一誓

今回の龍中学会で、私はクリークについて発表しました。実際にクリークのボランティアなどに参加し、理解を深めました。またMinecraftを使い、龍谷中学校から佐賀駅までをクリークで繋げる試みをしてみました。プレゼンに現実性を持たせることで、より説得力が増すということがわかりました。

吉田真悠子

私は公認心理師になり、心に問題を抱えた人を助けたいという夢があります。そのため私は「癒しグッズ」をつくり、それを発表しました。これからはつくってわかったことを学校生活に活かしたいと思います。

「クリエイティブ教育」佐賀大学訪問



1年生は令和5年11月15日(水)、2年生は令和5年11月22日(水)に佐賀大学を訪問しました。

中村隆敏教授(芸術地域デザイン学部・地域デザインコース・映像デザイン)、大学生の方からご指導のもと、1年生は「VR体験」、2年生は「3Dプリンター」などの先端技術体験を通して、デジタルファブリケーション(デジタルデータをもとに創造物を制作する技術のこと)について学習しました。

1年生は、初めての経験から学ぶことも多く、大学について知るよい機会となりました。この経験を糧に、今後の学びを充実させていきたいと思えます。

2年生は、大学生による「プロジェクトの進め方」や株式会社フレイム様による企業紹介を聞き、これから未来に直結した学びを得ることができました。後半では生徒が考えた「あつたら便利で、楽しむことのできるファブリケーション」についてプレゼンテーションを行い、様々な視点からものづくりについて考えを深めました。(文責 椛島)



生徒会長決定、生徒会発足

令和5年11月22日（水）、生徒会長候補者立ち会い演説会（候補者2名）並びに生徒会長選挙が行われました。投票箱や記載台を佐賀市選挙管理委員会様よりお借りして、本格的な雰囲気の中、生徒は緊張した様子で投票を行いました。

開票の結果、栗田桜雅さん（2年）が新生徒会長に選出されました。その後、栗田会長を中心に18名による新生徒会執行部も組織され、令和6年度に向けて早速活動開始です。

【生徒会長挨拶】



令和6年度、龍谷中学校生徒会長を務める栗田桜雅です。これから一年間、よろしくお願いたします。

さて、新生徒会では、生徒一人ひとりが学校にいて楽しく、自分の言いたいことが言い合える居心地のいい学校を作っていくことを目標に活動していきます。

活動の目玉として、挨拶運動を活発化させるために「A-1グランプリ」を実施します。「A-1グランプリ」とは一ヶ月間で最も挨拶が上手だった人を投票で決める取り組みです。このように、生徒会執行部が先頭に立って学校を盛り上げていきます。これからの活動にご期待ください。



受賞、おめでとう！

◎体育部門

- ◆第25回中山杯争奪剣道大会（9/24）
優秀選手賞 山崎 杏南（②西与賀）
女子団体 2位
- ◆第68回佐賀市中学校剣道新人大会（10/8）
女子団体 2位
- ◆第47回佐賀県少年剣道学年別個人選手権大会（11/5）
3位 實松 聖恋（①千代田西部）
石橋 杏愛（③北明）
實松 久玲愛（③千代田西部）
- ◆佐賀県中学新人剣道大会（11/11）
女子個人 3位 山崎 杏南（②西与賀）
女子団体 3位
- ◆第17回熊本 神泉会旗（11/19）
女子団体 敢闘賞 龍谷中学校A
- ◆第39回川崎旗争奪少年剣道大会（11/26）
女子団体 準優勝 龍谷中A
- ◆第38回若鷲旗剣道大会（12/27）
女子団体 敢闘賞 龍谷中A
- ◆第2回将龍杯少年剣道大会（1/6）
中学1年女子の部 3位 西村 初愛（①千代田東部）
- ◆第40回記念森旗争奪少年剣道大会（1/28）
女子団体 敢闘賞
- ◆白龍旗争奪中学生選抜剣道大会（2/18）
女子団体 準優勝

【空手部】

- ◆第32回TAGAWAコールドメインカップ空手道大会（11/19）
敢闘賞 小島 彩瑛（②佐大附属）
- ◆第36回和道流空手道九州大会（11/23）
女子個人形 優勝 小島 彩瑛（②佐大附属）
女子個人組手 準優勝 小島 彩瑛（②佐大附属）
- ◆第26回佐賀県中学生空手道大会新人戦（11/26）
男子個人形 3位 土井 太喜（①芦刈観瀾）
女子個人形 3位 小島 彩瑛（②佐大附属）
女子個人組手 3位 小島 彩瑛（②佐大附属）

◎文化部門

- ◆七夕書き方会（9/29）
硬筆入選 梅崎 陽愛（①思斉館）
毛筆入選 香月 乃綾（①三日月）
- ◆第69回全国青少年読書感想文コンクール地区審査（9/19）
特選 松石 望愛（③若楠）
入選 山崎 睦佳（①思斉館）
- ◆第64回佐賀県学童美術展支部審査（11/7）
入選 熊谷 朱玲（①赤松）
副賞 佳村 佳尚人（①嘉瀬）
木村 虎太郎（①高木瀬）
松石 聖恋（①千代田西部）
山崎 杏南（②西与賀）
大橋 美和（②開成）
中島 蒼真（②鍋島）
實松 久玲愛（③千代田西部）
浦井 那桜（③日新）
江島 邦彦（③赤松）
松石 望愛（③若楠）
- ◆第64回佐賀県学童美術展（11/21）
県準特選 星川 琉偉（②昭代第二）
- ◆令和5年度統計グラフ佐賀県コンクール
佳作 豊増 恒生（③旭）
小島 彩瑛（②佐大附属）
- ◆第46回佐賀神社松原神社新春奉納書道展（1/21）
佳作 香月 乃綾（①三日月）
入選 松石 望愛（③若楠）
- ◆第59回新春読書感想文コンクール地区審査（1/12）
特選 川野 心美（②旭）
松石 望愛（③若楠）
豊増 恒生（③旭）
松石 睦佳（①思斉館）
- ◆第59回新春読書感想文コンクール佐賀県審査（1/26）
入選 松石 睦佳（①思斉館）
課題図書 優秀賞 小島 彩瑛（②佐大附属）
- ◆第24回アバンセ杯放送コンクール
佳作 松石 望愛（③若楠）
審査委員特別賞 中野 心晴（③赤松）
- ◆第64回佐賀県学童美術展立休作品（2/7）
特選 中村 亮仁（①循誘）
準特選 土井 太喜（①芦刈観瀾）
熊谷 朱玲（①赤松）
服部 季逢里（①北川副）
- ◆第83回全国教育美術展（2/10）
特選 松石 睦佳（①思斉館）
和桜（①若楠）

九州龍谷短期大学 2025(令和7)年度以降の学生募集停止について

日頃より学校法人佐賀龍谷学園、九州龍谷短期大学の教育活動にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、2024(令和6)年1月29日に開催されました理事会・評議員会におきまして、2025(令和7)以降の学生募集の停止を決定いたしましたことをご知らせいたします。

なお、2024(令和6)年度入学生および在学生への教育、進路支援等につきまして、これまでと同様、全力を挙げて取り組んでまいります。

在学生、卒業生、保護者、受験生の皆さま、高等学校をはじめとする諸教育機関、寺院関係者、地域、企業の皆さま、これまでのご理解とご協力に衷心より感謝申し上げます。

【本件に関する問い合わせ先】

学校法人佐賀龍谷学園 企画経営室

電話:0942-85-1131 Mail:kkk@k-ryukoku.ac.jp

親鸞聖人御正忌報恩講を行いました

1/20(土)親鸞聖人御正忌報恩講を行いました。お勤めの後に、「親鸞聖人の願い ～世の中安穏なれ、仏法ひろまれ～」と題し、本学学長・浄土真宗本願寺派住職である後藤明信先生からご法話をいただきました。

御正忌報恩講の後は成人を祝うつどいを開催しました。理事長からお祝いをいただき、成人を代表して学生が挨拶いたしました。



鳥
栖
市

学園だより
九州龍谷短期大学

佐賀龍谷学園が設置する学校（短大・高校・中学）に、兄弟姉妹が二人以上在籍する場合、二人目以降のお子様の入学金が減免されます。
詳しくは、各学校事務室までお問い合わせください。

幼保連携型 認定こども園

九州龍谷短期大学付属

龍谷こども園



自分たちで制作ものを使って、先生と一緒に「お店屋さんごっこ」を楽しんでいます。



友達とお手紙の交換をしたり、クラスで歌っている歌詞を書いたりして、文字への関心をもって遊んでいます。



友達とイメージを共有しながら、制作遊びやごっこ遊びを楽しんでいます



みんなで、今年の干支の辰を作りました！

龍谷こども園の
子どもたちは、
こんな遊びを
楽しんでいます。



粘土を「コネコネ」して楽しんでいます。何が出来たかな？